

# タヒチヌイトラベル発



2012年12月14日発信

**イアオラナ！現地旅行社タヒチヌイトラベルが発信する、タヒチのプチ情報です。**

みなさまこんにちは！スタッフAです。

タヒチは雨期に入り、雨が降ったりやんだりを繰り返していましたが、今日は久しぶりにからっと良いお天気となりました。心なしかパペーテの街を歩き交う人々も晴れ晴れとして見えます。

さて、今日はタヒチの基本の「き」、ティアレ・タヒチの話題です。

ティアレはタヒチ語で花を意味するので、ティアレ・タヒチとはずばり「タヒチ花」。タヒチを象徴する花であり、旅行中も至る所で目にする代表的な花です。成田とパペーテを結ぶエアタヒチヌイ航空の尾翼にもデザインされています。

学術名はガーデニア・タヒテンシスと言い、その名の通りガーデニア種です。もともとは海外から持ち込まれた花ですが、タヒチで独自に変化してティアレ・タヒチとなりました。

ティアレ・タヒチはタヒチ人の生活に欠かせません。現代のフラワーレイはもとより、昔から薬草としての効果も広く知られており、ココナツ・オイルにティアレ・タヒチを漬け込んだ「モノイ・オイル」は連綿と受け継がれるタヒチの伝統です。

そのティアレ・タヒチ、花びらが7枚のものが広く紹介されていますが、じつは花びらの枚数は5枚から8枚まであります。それも一つの木からランダムに、様々な花びらの枚数を持つ花が咲きます。しかし、6枚と7枚は数多くみられるのですが、5枚と8枚はなかなか見つかりません。もし見かけることがあったら、何かラッキーなことがあるかも??

タヒチに来たら、是非探してみてください。

(ちなみに、9枚以上の花びらのものは、根元で2株がくっついているので一つの花とは言わないそうです。)

